

議題（２）説明会の結果について

１．実施内容

スライドを用いた運行計画案等の説明（参考資料 P 9～参照）

質疑応答

アンケート調査（参考資料 P 41～参照）

２．参加者

市内全小学校区単位で開催（13ヶ所）

月	日	曜日	開始時間	施設名	参加者	
10	5	月	19:00	南小会館（桜のまちな家）	18	
	6	火	19:00	中小会館（四季彩の家）	7	
	7	水	19:00	西小会館（星座の家）	中止（5）	
	8	木	19:00	箕面小会館（日時計の家）	15	
	9	金	19:00	西南小会館（かがり火の家）	11	
	10	10	土	10:30	豊川南小会館（太陽の家）	15
				15:00	とどろみの森学園	5
	13	火	19:00	萱野小会館（くすの木の家）	13	
	14	水	19:00	豊川北小会館（鐘の鳴る家）	59	
	15	木	19:00	東小会館（みどりの家）	25	
	16	金	19:00	萱野東小会館（灯ろうの家）	17	
	17	土	10:30	萱野北小会館（如意谷の里）	10	
15:00			北小会館（北斗の家）	8		
合 計					208人	

西小会館（星座の家）は台風接近に伴う荒天のため中止。（ ）は個別対応者数

３．主な意見

（１）運行計画関係

廃止ルートの見直し

巡回方向の見直し

便数増（30分に1便）

運行開始時間を早く

路線バスとの乗り継ぎによるダイヤ調整

（２）運賃関係

基本運賃は路線バスより安く

高齢者割引運賃の導入

新たなバス間の乗り継ぎ割引の実施

新たなバスと路線バスの乗り継ぎ割引の実施

(3) 利用促進関係
情報提供
バス停待ちの環境改善 (ひさし、ベンチ)

(4) 路線バス関係
箕面山麓線の便数増

(5) その他
商業者バスとの連携
Mバスの継続
市民が理解できる広報内容
十分な市民への説明と市民意見の反映

4 . アンケート調査結果 (参考資料 P 4 3 ~ 参照)

(1) 巡回方向
運行計画案 : 市街地の 5 ルートは一方向 (北部は往復)
西部地区では、(運行計画案の一方向を) 容認する意見が半数以上
中部地区では、一方向を容認する意見が多いが、両方向を求める意見との差は少ない
東部地区では、両方向を求める意見が多い

(2) 積み残し
運行計画案 : 全便小型車 (定員 35 名 (座席 : 11 名、立席 : 24 名))
全ての地区で肯定的な意見が多数 (狭い道路で小回りが利く、細かいルートの設定)
利用者が多い東部北ルート等では対策が必要との意見もある
座席数が少ないことが不安との意見もある

(3) 所要時間
運行計画案 : 1 便あたり西部・中部 : 50 分台、東部 : 70 分台 (北部 : 片道 41 分)
西部地区・中部地区では、概ね肯定的
東部地区では、所要時間の短縮を求める意見の方が多い (行きと帰りの時間差が大きい)

(4) 松寿荘への乗り入れ
運行計画案 : 乗り入れを行わず、中央線に停留所を新設
全ての地区で乗り入れないとする意見が多数
利用者が多い時間帯は乗り入れを希望する意見もある

(5) 新規ルート・廃止ルート・バス停
運行計画案 : 現行の M バスルートをベースに、ルートの拡充と運行本数を大幅に増加させるなどにより、飛躍的にバスサービスを改善
西部地区・中部地区では、(運行計画案を) 概ね容認
東部地区では、見直しを求める意見が過半数を大幅に上回る (廃止ルートの見直し、経路の変更、路線の延伸、バス停の追加など)

(6) 路線バスとの役割分担
運行計画案 : 東部北ルートと箕面山麓線 (路線バス) が競合するため、箕面山麓線の循環系統を見直して、路線バスは箕面駅との往復便 (鉄道フィーダー) を充実
西部地区・中部地区では、役割分担すべきとの意見が多数
東部地区では、路線バスも引き続き運行を求める意見と役割分担すべき見直しを求める意見に分かれる